

# 三角縁神獣鏡・ 妙法寺 2 号墳出土遺物一括

【平成 9 年 3 月 18 日 市指定 有形文化財】

現在市民体育館のある場所には、妙法寺 2 号墳という古墳があり、前方後方墳という九州ではめずらしい墳形をしていました。その墳形から古代出雲とつながりがあったと考えられています。

また、古墳からは三角縁神獣鏡が見つかりました。三角縁神獣鏡は全国の有力な古墳から見つかっていて、わが国の成立時期を考える上で大変重要です。

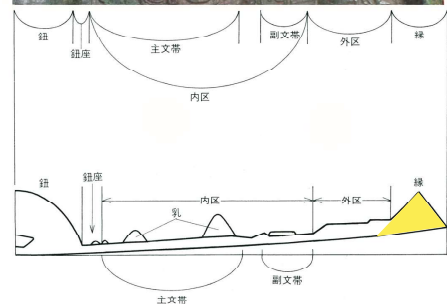
古墳の重要な検討材料として、鏡以外の出土品である土器や鉄器も一緒に指定されています。



▲妙法寺 2 号墳で見つかった三角縁神獣鏡

▶三角縁神獣鏡が出土したときの様子

鏡には銘文が刻まれ、割れていましたが全体を復元することができました。



▲三角縁神獣鏡の断面図

三角縁神獣鏡は、背面に神仙世界の神獣像が描かれ、鏡の縁が三角形の断面であることから、この名称で呼ばれています。